



近畿病院図書室協議会アンケート報告

林 伴子

I. はじめに

近畿病院図書室協議会(以下病図協)は2011年度創立35周年を迎える。創設時は22機関だった会員も122機関を数えるまでになった。しかし、会員数は増加しても、病図協の運営にあたる幹事、ならびに事業を遂行する各部の部員の開拓には苦慮する日々が続いている。会員であることには義務・責務が伴う。病図協の目的の一つである相互協力活動に参加することもそのひとつであり、会員である図書館担当者には認知しておくべきことと考える。しかし、担当者の入れ替わりも多く、果たしてどこまで伝わっているのか心許ない状況であった。そこで今回、ネットワークの存在意義を見直し今後の病図協活動の指針を模索することと、事業継続に向けて会員の状況を把握するため、ネットワークのあり方についてアンケート調査を行ったので、概要を報告する。

II. 方法ならびに対象

病図協会員施設122機関に対し、郵送でアンケート文書を送付し、FAXならびに郵送で回答を得た。回収件数53件、回収率42.1%であった。

設問は設立目的などの病図協についての知識や入会動機、事業活動への協力の可否、今後への期待など、12問を設定した(図1)。

III. 結果

個人的背景として、雇用形態について質問し、

得た回答は表1の通りである。

正職員が回答の約半数を占めるが、毎年行っている年次統計でも、正職員は60%弱であるので、ほぼ現状を反映していると考えられる。ただ今回は勤務形態については聞いていないので、専任・兼任の区別はできていない。

病図協とのかかわりでは入会後の引き継ぎ担当者が43名と多く、担当者の交代の多さが読みとれる。その中で、引き継ぎ時に病図協についての説明を受けた担当者は12名(27.9%)と少なく、ネットワークを維持するための知識の伝搬がうまくなされていない状況がうかがえる。ただ、説明を受けた担当者の中には初任者研修参加者も多く、研修活動の意義を感じた。

入会動機は文献の相互利用を目的としたものが30件と一番多く、担当者の資質向上、病院図書館の情報入手などが続いている(表2)。

病図協の知識については、設立目的を知っているとの回答は33件と過半数を越しはしたが、会則にうたっているにもかかわらず、認知度が低い。

事業活動についても、対外活動を行っていることは意外と知られていないことがわかった。研修会・勉強会の開催や会誌の発行、文献の入手に欠かせない所蔵目録Kinki Webcatの運営はほとんどの回答者が知っていた。ホームページの運営、統計調査についても9割ほどの認知度であったが、ニュースレターの発行については2009年度からの開始のため、まだ十分に浸透しているとはいえない(表3)。

以上を踏まえた上で、事業活動への協力の可否について質問した。結果は29件(54.7%)が

所属	氏名	経験年数
雇用形態 ① 正職員 ② 常勤嘱託 ③ 非常勤嘱託 ④ 派遣 ⑤ 委託 ⑥ その他		
1. 近畿病院図書館協議会設立目的について ① 知っている ② 知らない		
2. 入会 ① 入会当時担当者であった ② 入会后担当することになった		
3. 入会動機：何を期待して入会しましたか？（複数回答可） ① 担当者の資質向上 ② 文献の相互利用 ③ 病院図書館の情報入手 ④ 病院図書館の整備 ⑤ その他（ ）		
4. 2-②の方にお聞きます 担当者となったとき、協議会活動について説明をうけましたか？ ① 受けた ② 受けていない		
5. 事業活動について知っているのは？ ① 研修会・勉強会開催 ② 会誌発行 ③ 所蔵目録 KinkiWebcat の運営 ④ ホームページの運営 ⑤ 統計調査 ⑥ ニュースレターの発行 ⑦ 対外活動		
6. 事業活動への協力： 事業は幹事を中心とした各部で運営されています。部としては ① 研修部 ② 会誌編集部 ③ 統計調査部 ④ 目録サポートチーム ⑤ HP ワーキンググループ その他必要に応じて対外協力（他団体主催の会への派遣など）を行っています（⑥）。 協力できると思われるのはどれですか？上記の番号でお答えください。 ①（ ） ② 協力できない 理由（ ）		
7. 6-②とお答えのかたにお聞きます。 近畿病院図書館協議会は会員の相互協力を基本としています。どのような活動だと協力できますか？ *目録提出、文献提供、統計調査、総会出席は義務として協力いただけるものと見なします ① 研修会会場の提供 ② 執筆活動への協力 ③ 研究活動への参加 ④ その他（ ）		
8. 事業活動の計画実行は幹事会でされます。幹事会議事録は HP、会誌上で報告されています。 ① 幹事会報告をチェックしている（会誌、HP） ③ 見たことはほとんどない		
9. 幹事として会の運営に当たることは？ ちなみに現在の幹事は常勤職員ではありません ① できる（してみたい） ② できない 理由：1) 勤務体制のため（非常勤、派遣、パート） 2) 幹事会で何をしたらいいかわからない 3) 上司の許可がでない 4) その他（ ）		
10. 幹事は選挙で選出されています。選出方法としてどう思われますか？ ① 今のままでよい ② 他の選出方法がよい 1) 輪番制 2) 地区選出 3) その他（ ）		
11. 近畿病院図書館協議会は創立 35 年になります。今後に期待することは？ 実現するにあたって協力できることは？ ① 期待すること ② 協力できること		
12. その他自由にご意見をお書きください		

図 1 設問ならびに回答

表1 個人的背景

雇用形態

正職員	常勤嘱託	非常勤嘱託	派遣	委託	その他	無回答
27	11	5	4	2	2	2

経験年数

3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無回答
22	11	6	12	2

機関入会時期と現担当者との関係

入会時期との関係	総数	機関会員歴5年未満	機関会員歴5年以上
入会時からの担当者	10	4	6
入会後の引き継ぎ担当者	43	24	19
合計	53	28	25

表2 入会動機（期待していたもの）〈複数回答〉

入会動機	総数	入会時担当者	引き継ぎ担当者
担当者の資質向上	20	6	14
文献の相互利用	30	8	22
病院図書館の情報入手	20	7	13
病院図書館の整備	10	4	6
その他	4	3	1
無回答	15	0	15

表3 病図協基礎知識 〈複数回答〉

a. 設立目的

設立目的	総数	入会時担当者	引き継ぎ担当者
知っている	33	9	24
知らない	20	1	19

b. 事業活動

事業活動	総数	入会時担当者	引き継ぎ担当者
研修会・勉強会開催	51	10	41
会誌発行	50	10	40
所蔵目録 KinkiWebcat の運営	52	10	42
ホームページの運営	49	10	39
統計調査	47	10	37
ニューズレターの発行	40	9	31
対外活動	17	5	12

協力できないとの回答であった。理由としては兼務であること（診療情報管理など）、地理的な問題、勤務体制（非常勤、委託など）があげられた。病図協の設立目的から言えば、残念な回答と言わざるを得ないが、そんな中でも、全く拒否するのではなく、執筆活動や研究活動への

参加など、できることは協力したいという声があったことは救いである。

一方、協力できるとの回答も多くあり、今後の事業活動を行う上で心強い味方を得た思いである。

今後へ期待するものとしては、相互貸借のさ

- ・相互貸借のさらなる活性化
- ・ネットワークの拡大と充実
- ・図書館運営の最新情報
- ・他図書室運営状況などの情報提供
- ・病院図書館司書の資格認定、養成
- ・研修・教育活動の充実
- ・図書管理に関するスキルアップとフォローアップ
- ・近畿ならではの会運営
- ・会員間のコミュニケーション
- ・図書館員の交流の場

図2 期待すること

らなる活性化、ネットワークの拡大と充実など相互協力活動に関するもの、図書館運営の最新情報、他の図書室運営状況など、図書館業務の管理と運営に関するもの、病院図書館司書の資格認定・養成など、教育研修活動に関するもの、それに加えて会員間のコミュニケーションの充実を望む声があった(図2)。

最後に自由記載をしていただいたなかには、部活動の経験から得た貴重なご意見や、公にできない厳しい状況を訴える声などがあった。

IV. おわりに

今回行ったアンケートについて概略を報告した。詳細な分析には至らなかったが、個々を取

り巻く状況の一端を知ることができた。事業活動への協力の可否についての回答が今回のアンケートの主目的とも言えるのだが、厳しい状況を打破できるだけのものとは言いがたい。しかし、協力できるとの声に導かれ、2010年度には新たな人材を得ることができたのは望外の喜びである。

ネットワークに参加することによって得られるものは多いが、維持していくには個々の会員が責務を果たすことが必要であろう。しかしながら担当者の一存で決められないことが多々あるのは容易に想像できる。勤務体制の厳しい状況が一部存在するが、同じ会員としてどんなサポートができるかを探っていくことも今後の課題となるだろう。また、部員として活動した経験がその後の仕事に役立っている、ぜひ経験してほしいという暖かい声があった。なかなか協力活動に踏み出せないでいる担当者に届くことができればと願っている。

今回、幹事の選出方法についての設問も設けたが、回答としては現状維持を願う声が大半であった。幹事の選出については今後の課題としてより良いあり方を考えていきたい。